

|                      |   |
|----------------------|---|
| ● 新学部長からのメッセージ ..... | 2 |
| ● OB先生の近況 .....      | 3 |
| ● 会員だより .....        | 3 |
| ● 役員紹介 .....         | 4 |
| ● 2025年度 会計報告 .....  | 4 |

## 2026年度 ホームカミングデイ企画

大学祭の期間にホームカミングデイが設けられ、午前は大学企画、午後は各学部企画が行われます。

### 森の会総会・昼食会

**日 時** 2026年 **10月31日(土)** 12:15~13:15(受付11:45~)

12:15~12:45 昼食会

12:45~13:15 森の会総会

岐阜大学副学長 神原 信志 氏 祝辞

**場 所** 岐阜大学地域科学部棟 11講義室

岐阜市柳戸1-1

申込締切

**10月9日(金)**

**昼食会会費** 1,000円 当日受付にてお支払いください。

飲食代金の一部は森の会が負担いたします。

**申込方法** メールでお申し込みください。E-mail: mori2001@t.gifu-u.ac.jp

申込の際に氏名、住所、所属ゼミ、電話番号、森の会ニュース発送封筒宛名シールの右下記載の番号をご明記ください。申込後に確認返信メールをお送りします。今回残念ながらご欠席の方も、是非とも皆様への近況報告をお寄せください。



### 地域科学部創立30周年記念公開講座

**日 時** 2026年 **10月31日(土)** 13:30~16:00

13:30~14:15 ■ 講演: 近藤 真 氏(岐阜大学名誉教授)

岐阜大学における教養教育の38年と  
今日の大学教養教育の新たな課題

14:30~15:15 ■ 講演: 富樫 幸一 氏(岐阜大学名誉教授)

旧教養部のカリキュラム改革から、  
全学共通教育を発足させるまで

15:15~16:00 懇親会

**場 所** 岐阜大学地域科学部棟 101講義室

申込不要、参加費無料

問い合わせ先: Tel:058-293-3002 E-mail:chiiki@t.gifu-u.ac.jp



# 激動の時代に挑む 地域科学部の現在地

学部長 <sup>やまもと</sup> 山本 <sup>こうとく</sup> 公德 教授(行政学)



同窓生の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学部の教育・研究活動に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現代社会はかつてない激変の中にあります。本学部が設立以来大切にしてきた「地域に根ざし、世界を見据える」という理念は、この不確実な時代において、その重要性をさらに増しています。

そうした激動の時代にあって、一昔前には存在もしなかったような学問的課題が浮上しており、それらに取り組むことが本学部の重要な社会的使命であると日々痛感しています。その一つとしてあげられるのが、「生成AI時代の学び」です。現代では、専門家であっても答えるのが難しいような複雑な問いでも、AIに聞けば瞬時に一応の答えが示されます。そのような時代に4年間もかけて大学で学ぶ意味はどこにあるのか、これは非常に現代的な大きな課題の一つです。

また、AIという情報収集・集計に長けた道具が登場したにもかかわらず、というよりもそうした道具が登場したがゆえに、フェイク・ニュースの蔓延に象徴される「事実」の揺らぎが深刻化しています。SNSによる情報の偏りやポスト・トゥールースといわれる混迷期において、溢れる情報に溺れない知性が求められています。この点は、文理融合型の学びを特徴とする本学部にとって正面から取り組まねばならない課題といえます。

さらに、「地域社会の再生における学問の役割」という問題も、改めて重要性が高まっている課題です。人口減少などの地域課題は、我々の足下を脅かすものであるのみならず、世界共通の問題となっています。地域科学部はこれらを単なる研究対象とせず、地域社会とともに新たな選択肢を創り出す「実践の場」であり続けたいと考えています。

私たちはこれらの問題に学生とともに取り組んで参りたいと思いますが、社会の最前線でこれらの課題と対峙されている同窓生の皆様の知見や経験もまた、在学生にとって大変貴重なものです。次世代の担い手を育てるため、今後とも温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。

## 岐阜大学地域科学部基金の ご協力とお願い

地域科学部及び地域科学研究科が更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献する責務を果たすために、ご寄附をお願いします。

この基金による支援事業は、**1. 学生に対する学術交流協定校への留学支援、2. 教育研究活動に対する支援、3. 産学官連携及び社会貢献活動に対する支援、4. キャンパスの環境整備・充実に対する支援等**としております。多くの皆様のご協力により、本学部・研究科の教育研究活動を支援し、もって地域社会の発展に貢献しうる学生を養成するために本基金を活用させて頂きたく存じます。

つきましては、皆様には本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

岐阜大学地域科学部 学部長 山本 公德



【岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い】  
URL: <https://www.rs.gifu-u.ac.jp/kikin.html>

## 森の会への 入会について(お願い)

森の会の会費は終身制をとっております。ご入学の時点でお支払いくださるよう、お願いしています。

納入がまだの会員の皆さまは、お振込みをお願いいたします。ご連絡いただきましたら、事務局から振込用紙をお送りさせていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

森の会は、母校との絆を保ちつつ、会員相互の親睦をはかり、また母校の発展に寄与することを目的としています。同窓会の活動にぜひご参加ください。

また、ご意見、ご要望なども気軽にお寄せくださいますようお願いいたします。

森の会 会長 浅井 彰子

# てにておラジオ「やさしさ発見！けんぼう探検！」

岐阜大学名誉教授 <sup>こんどう</sup> 近藤 <sup>まこと</sup> 真 氏(憲法学)

## ■ はじめに

ここでは、私の岐大定年退職後の地域貢献活動として「てにておラジオ」の「やさしさ発見！けんぼう探検！」について述べる。

### 1. 定年退職後の地域活動としての市民ラジオ放送活動

私の65歳の岐大定年後の生活は、2018年4月から始まったが、後任の憲法教員として2020年に小牧亮也先生が着任され、非常勤講師も70歳定年を迎えると、軸足は大学教育から地域活動に移った。特に2015年に開始した市民ラジオ放送活動だ。それは、放送法の枠内で、ラジオ番組の制作に市民が参加し、自由に意見を述べる制度だ。それは、わが「森の会」の会長の浅井彰子さんを代表とする「てにておラジオ」で、「FMわっち」の番組として、現在、水曜日の夜7時からと、日曜日の昼12時から、1時間、毎週放送され、同時刻に「FMわっち」のホームページからアクセスすれば、世界中どこでも聞くことができる。

### 2. 「やさしさ発見！けんぼう探検！」

私は、その中の15分番組「やさしさ発見！けんぼう探検！」の

制作を、毎月1回、担当し、月末の第4日曜にメディアコスモス(岐阜市立図書館)で公開収録している。この番組では、相方と二人で、憲法の観点から、時事問題を語り合う。2015年の第1回を「18歳選挙権」から始めて、最近5月の第119回は「国家情報会議設置法」について語った。「てにておラジオ」の意義は、市民の自由な意見を、既成のマスコミを舞台に地域に届けて、地域の民主主義の発展に貢献することだ。



## ■ むすび

車でラジオをつけると、「てにておラジオ」が聞こえる。もし「やさしさ発見！けんぼう探検！」のトークを聞いたら、色々考えよう。自分も意見を言いたい人は、「てにておラジオ」に参加して、社会に訴えよう。「てにておラジオ」は、みんなを待っているからね。

## 会員だより



第27期生(山本公德研究室) 山県市副市長 <sup>くぼた</sup> 久保田 <sup>ゆうじ</sup> 裕司 さん

私は2023年4月、岐阜県山県市の副市長を務めながら、岐阜大学大学院地域科学研究科(地域政策専攻)に入学しました。還暦を過ぎての挑戦でしたが、職場との近接性や指導教官の山本教授をはじめとする先生方の温かいご配慮により、2025年3月、副市長在職のまま最短期間で修了できました。

当市のような小規模自治体の公務では、幅広い業務を遂行するために「経験則」が欠かせません。他方、これに頼りすぎると、無意識に選択肢を狭めたり、思い込みで陥ったりするリスクも孕んでいます。そこで、長年の実務経験をアカデミックな視点から検証し、自身の興味に偏りがちな「エコーチェンバー現象」を防ぐ

とともに、改めて幅広く学びたいとの思いが入学の動機です。

結果として、大学院での学びは期待以上の収穫をもたらしてくれました。「知る喜び」は人間の本能であり、「学びたい時こそが学問の適齢期」であると実感しています。人間が常に知的好奇心を持ち続けることは、豊かな人生や高齢期の健康維持につながります。そして、年代を問わず学び続けることは、高齢化社会における有効な方策の一つと言えます。この「脳の活性化(ボケ防止)」こそが、実は私の入学動機の本音でもありました。

「地域を科学する」という学問は、正に地方公務員に求められる訓練そのものです。現役の学生の皆さんはもちろん、社会人の方々も、地域のために地方公務員として奉職されることを心よりお待ちしております。

第26期生(小西豊ゼミ) <sup>にしに</sup> 西谷 <sup>そうた</sup> 颯太 さん

この春、地域科学部を卒業いたしました西谷颯太と申します。私は現在、東京で初めての一人暮らしをしながら働いております。自然豊かな環境のキャンパスで過ごした4年間の日々を、懐かしく感じるが増えました。

東京での生活は慣れないことも多く、特に通勤時間帯の満員電車には苦勞しています。しかし、岐阜駅からバスで通学していた頃を思い出すと、不思議とあまり変わらないなとも感じています。

私にとっての大学生活の4年間は、自分で考え行動することの大切さを学んだ時間でした。現在の地域科学部は必修科目が少なく、友人と「岐阜大学で最も自由な学部だ」と話していたことを思い出します。自由である反面、自ら動かなければ学びは深まらない環境でもありました。

そのことを強く実感したのは、卒業論文の執筆です。テーマは労働組合でしたが、当初はどのように論じていけばよいか分からず、悩む日々が続いていました。そんな私に、小西豊先生は、実際に労働組合で活動されている方へインタビューをしてみてはどうかと背中を押してくださいました。ご紹介もいただき、東京や京都まで足を運び、多くの方のお話を伺うことができました。

自ら行動したことで視野が広がり、机上では得られない多くの学びを得ることができました。小西先生を始め、お世話になった皆様方に心から感謝申し上げたいと思います。



森の会の皆さま、いかがお過ごし  
でいらっしゃいますか。

今年度新たに正会員となられた皆さま方におかれま  
しては、ご卒業、ご修了まことにおめでとうございます。  
春からの新しい世界で、お一人おひとりがお力を  
発揮されていることでしょう。

116人の皆さまをお迎えして、正会員は3,267人

となりました。岐阜大学の他学部と同窓会に比べます  
と小さくはありますが、会員の皆さまがさまざまな分  
野で活躍していらっしゃる事が誇りです。そんな森  
の会も発足して25周年を迎えました。

これからの同窓会の運営に皆さまのお知恵をお貸し  
ください。ぜひ、いっしょに同窓会を盛り上げてくだ  
さいますようお願いいたします。

## 2026年度 森の会役員

- 会 長／浅井 彰子①
  - 副会長／浅野 善信① 都築 尚子①
  - 幹事長／伊藤 健人③
  - 幹 事／伊藤 雅浩① 小澤和歌子① 眞鍋 陽子① 後藤 祐治③ 笠原 正博⑩ 平野 純里⑪  
藤井 敬子⑪ 野村 惇貴⑫ 小塩 里予⑭ 西野 公美⑭ 伊藤 未有⑮ 高須 啓太②④  
加藤みのり②⑤
  - 会 計／荒瀬 修三③ 田島 佳奈⑮
  - 監 査／祖父江利佳① 川脇沙也佳⑮
- (氏名の後の○の数字は、期生を表します ①…第1期生)

森の会 会員数 3,267名  
(2026年4月1日現在)

## 2025年度 森の会決算報告

自 2025年 4月 1日  
至 2026年 3月31日

### ■収入の部

(単位：円、小文字は内訳)

| 項 目         | 決 算 額     |
|-------------|-----------|
| 会 費         | 770,000   |
| 懇親会費        | 14,000    |
| 受取利息        | 1,183     |
| そ の 他       | 0         |
| 当 期 収 入 合 計 | 785,183   |
| 前 年 度 繰 越 金 | 461,589   |
| 収 入 合 計     | 1,246,772 |

| 項 目    | 収入の部      | 支出の部      | 差引計    |
|--------|-----------|-----------|--------|
| 次年度繰越金 | 1,246,772 | 1,149,163 | 97,609 |

### ■資産保管状況

| 項 目    | 現 在 高     |
|--------|-----------|
| 現 金    | 0         |
| 普通預金   |           |
| 十六銀行   | 97,609    |
| ゆうちょ銀行 | 0         |
| 定期預金   |           |
| 十六銀行   | 7,000,000 |
| 合 計    | 7,097,609 |

### ■支出の部

(単位：円、小文字は内訳)

| 項 目         | 決 算 額     |
|-------------|-----------|
| 事 業 費       | 594,148   |
| 会報等印刷費      | 211,640   |
| 会報等郵送費      | 317,350   |
| 卒業・修了祝会祝い金  | 65,158    |
| 事 務 費       | 463,000   |
| 人 件 費       | 428,233   |
| 事務用品費       | 9,167     |
| 通 信 費       | 21,400    |
| そ の 他       | 4,200     |
| 会 議 費       | 51,130    |
| 諸 会 費       | 0         |
| 役員会雑費       | 18,870    |
| 交 通 費       | 32,260    |
| 総 会 費       | 40,885    |
| 総 会 経 費     | 0         |
| 懇親会経費       | 40,885    |
| 講 演 会       | 0         |
| 予 備 費       | 0         |
| 当 期 支 出 合 計 | 1,149,163 |
| 当期予備費合計     | 0         |
| 支 出 合 計     | 1,149,163 |

進路状況については、岐阜大学地域科学部ホームページ「卒業後の進路」に掲載されておりますので、ご参照ください。

森の会では、みなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。  
連絡先等に変更があった場合は、メールにてご連絡ください。

### 連絡先

森の会 (岐阜大学地域科学部同窓会)

〒501-1193

岐阜市柳戸1番1 岐阜大学地域科学部内

TEL:058-293-3021 FAX:058-293-3008

E-mail:mori2001@t.gifu-u.ac.jp

森の会ホームページ [https:// www.rs.gifu-u.ac.jp/alumni.html](https://www.rs.gifu-u.ac.jp/alumni.html)

事務局業務日(月・水・木 9:00~15:00)



森の会アドレスに  
アクセスできます

